

色彩教材研究会

Special Interest Group on Teaching Materials

https://color-science.jp/color_teaching/labnews/

主査 吉澤陽介 (木更津工業高等専門学校)

(e-mail) yoshizawa@j.kisarazu.ac.jp

2年目の“Color Playing!”

<昨年度のおさらい>

2023年度より、“Color Playing!”を起点として活動を進めさせていただいております。そのひとつとして、2024年3月に「2023年度 色彩教材研究会研究発表会」を開催しました。その中で、実験的に開催した「色彩教材ギャラリートーク」については、リアルに作品を鑑賞ないし手にすることができる貴重な機会となり、研究発表会の新しい形になると感じられました。

<今年度にやること>

色彩教材研究会では、2025年3月に「色彩教材ギャラリートーク」に絞って開催することを検討しております。そこで研究会会員の色彩教材・作品を発表し、全体で共有していただくことによって、新しい発見とブラッシュアップのきっかけとし、色彩教材ないし作品の更なるクオリティ向上、ひいては全国大会などの

発表の場に繋げることを目指す場になればと考えております。

この「色彩教材ギャラリートーク」において研究会の強みを把握するとともに、色彩教材研究会の組織研究(IR)の結果も加味して、色彩教材の分野把握を行うとともに2025年度以降の活動指針の検討を行いたいと考えております。

<会員の方、これから入会を検討されている方へ>

2024年も同じ幹事会体制となります。主査として皆様をお願いしたいことは「積極的に色彩教材研究会を利用していただきたい」ことです。そのためには興味のあるテーマを持つことはもちろん、そのテーマに基づいた企画・アイデアを積極的に主査にご提案いただければと存じます。

測色研究会

Special Interest Group on Colorimetry(IGC)

<http://color-science.jp/colorimetry/labnews/>

主査 西省吾 (大阪電気通信大学)

学術と実務を両立させ、測色技術の未来を切り拓く研究会。

測色研究会は、日本色彩学会(学術委員会傘下)および日本色材協会の共同研究会として、色彩測定に関連する分野の研究促進と、公共の利益への貢献を目的に活動しています。本研究会は、色彩測定および関連する幅広い分野を対象とし、研究発表会や講演会などを通じて、学術的な研究と実務的な応用の両方を推進しています。

対象分野には、物理測色や視感測色、デジタルアーカイブ、マルチバンド/分光イメージング、肌色測定、表色系、色差、色票、混色や調色、CCM(コンピュータカラーマッチング)、質感計測・評価などが含まれます。これらの分野において、測色技術の基礎から応用まで幅広い研究活動が行われています。

2023年度の主な活動として、11月に開催された「令和5年度秋の研究会大会合同研究発表会」に参画し、当研究会関連の1件の発表があり、活発な議論が展開

されました。また、3月には定例の研究発表会を開催し、4件の研究発表と特別講演が行われました。特別講演では、株式会社オフィス・カラーサイエンスの大住雅之氏が「文化財と色彩・質感計測」をテーマに講演し、文化財の色彩や質感を多角的に計測し、その光学的特性を解析することで、日本の伝統工芸品や現代の工芸品への理解を深める取り組みが紹介されました。

今年度も「秋の研究会大会合同研究発表会」への参画や、年度末の研究発表会開催を予定しております。多くの方々のご参加と発表をお待ちしています。

<連絡先>

〒243-0198 神奈川県厚木市森の里若宮 3-1

NTTコミュニケーション科学基礎研究所内

日本色彩学会 測色研究会 事務局担当 土田 勝

Tel: 046-240-3572

e-mail: masaru.tsuchida@ntt.com